

日経 225 先物

[大阪取引所](#)に上場されている日経平均の先物取引の1つです。

先物取引は、将来のある売買を約束する「契約」です。日経 225 先物においては、「将来のある時点(=満期日)」に、「日経平均」を、「取引時の値段」で、売買する約束となります。日経平均を「買う」約束をする者(買い方)と、「売る」約束をする者(売り方)が存在し、売買する日経平均の値段が一致して初めて取引が成立します。

約束によると、満期日には日経平均を取引時の値段で売買することになるはずですが、実際には日経平均は単なる株価指数であって実体がなく、売買できません。そのため満期日までのどこかの時点で、反対売買(買い手は「転売」、売り手は「買い戻し」を行って取引を終了させること)を行って、売値と買値の差から計算される損益をやり取りする「差金決済」という方法を採用しています。

日経 225 先物取引では、取引代金は日経平均の価格を「1,000 倍」という制度を採用しています。

なお、取引金額を「100 倍」する日経 225mini と比較すると 10 倍の大きさのため、「ラージ」と呼ばれることもあります。

1988 年 9 月 3 日から取引されている、比較的歴史のある先物取引です。日本を代表する 225 銘柄の株価の平均値を指数化した、日本の株価指数の一種です。

詳しい説明はこちら「[日経平均プロフィール](#)」